

2023年10月10日  
第147号



# 国労九州

〒812-0013 福岡市  
博多駅東3丁目9番  
3号ニッポンビル1003  
092-483-1515  
発 責 手々岩隆  
編 責 水流 彰



## 日田彦山線BRTを視察！

### 九州本部・四国本部・中央本部合同



10月2日に中央本部岩元書記長・四国エリア本部・九州エリア本部の合同で日田彦山線BRTひこぼしラインを視察しました。発駅の添田駅を見学した後、BRT専用道区間となる彦山駅〜宝珠山駅(約14キロ)を乗車しました。平日でしたが、中型バスは、ほぼ満員の状態で、視察団は立席での乗車となりました。開通したばかりとあって駅舎もきれいに整備され、バスの乗り心地も快適に専用道を走行しました。

開業から約1カ月が経過をしましたが、新聞報道(9月24日まで)によると、BRTは一日平均乗車数が407人で延べ14000人が利用したとあります。鉄道よりも3倍の利用とあってまずまずの出だしと言えます。しかし、当日の利用者を見る限りでは、地元の利用者は数人で、ほとんどが遠方からの旅行者で、BRT開通を見ようとの物珍らしさ(マニア)が多いように感じました。会社も、利用者は地元が4割で6割が観光であり、どこが特段に増えたとはない。添田から日田までの旅行者が増えていると認めています。せっかく開通したBRTが本当に持続可能な交通手段となるのか。半年先・1年先の現状をきちんと検証していく必要があります。



### 改正地域公共交通活性化再生法

10月1日から、施行されることになり、時事通信が各県のアンケートを実施したところ、「再構築協議会」の設置についてJR芸備線とJR筑肥線(唐津〜伊万里間)の2つが挙がっていることがわかりました。佐賀県は「JRの outf 方を見ます。自治体の方から要請することはいずれも「ない」と回答。事業者が要請した場合は5県が「応じる」とし秋田・長野県は「応じない」としました。39の都道府県は「その他」を選び廃線を前提としない条件付きで応じるとの考えを示しました。JR各社はこの法改正を踏まえて地方ローカル線の再編に向け大きく動き出す事が予想されます。しかし、「攻めの廃線」と注目された、北海道の夕張線がバス転換しましたが、わずか4年で、今年9月末にバス路線が全廃されてしまいました。原因はドライバー不足によるもので、夕張市は交通崩壊の危機に直面し

ています。このように安易にバス転換し鉄道を廃止すれば問題解決とはなりません。一度、廃線となれば二度と復帰はかないません。沿線自治体にとっては死活問題となり、十分な議論が必要で、本当にローカル線の維持が困難となった場合は、国の責任で対応する必要があります。国労は公共交通の確保の観点から鉄道での維持を求めて運動を強化していきます。

がん保険にできることを、もっと。

**NEW**  
「生きるを創るがん保険」  
WINGS

**No.1** アフラックが提供するがん保険の満足度調査結果

1 幅広い保障と経済的負担をサポート  
治療前の検査から治療後の外観ケアまで幅広い保障でしつかり見えることができます。

2 がんサービスにアフラックのよりそうがん相談サポート(※1)が  
アフラックのよりそうがん相談サポートがさまざまな悩みの解決をサポート  
「がんからいらい」と感じる不安や疑問、専門知識を持つ相談員が親切にご対応いたします。

(※1)アフラックのよりそうがん相談サポートはHatch Healthcare株式会社またはHatch Healthcare株式会社の提携先が提供するサービスであり、アフラックの保険契約による保障内容ではありません。  
サービスの詳細は、アフラックオフィシャルホームページ(<https://www.afac.co.jp/keiyaku/gansoudansupport.html>)をご覧ください。

〈営業代理店〉(アフラックは代理店制を採用しています)  
アベニール株式会社  
〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5  
交通ビル3階  
TEL.03-3437-6810 FAX.03-3437-6822

〈信託保険会社〉  
「生きる」を創る。  
アフラック  
東京第二法人営業部  
東京都千代田区有明1-6-1  
丸の内センタービル10階  
TEL.03-6385-9829 FAX.03-3218-3885